

2021年度

# 研究助成等の募集 について

制度案内、書類作成例

1

## 助成事業概要（1）

### ▶ 申請資格

横浜市内の大学及び研究機関で研究に従事する者（大学院生を含む）

### ▶ 助成対象

（1）人文社会科学、自然科学、医学の3分野における  
**個人研究が原則**

（2）申請者多数の場合は、3区分（研究、出版、渡航費）のうち同一の助成区分で**過去2年以内に助成を受けた方は、その区分での審査の対象外**とすることがあります。（助成区分が異なる場合は申請が可能）

（3）同一年度で研究助成、出版刊行助成、海外渡航費助成の重複申請は受けません。

**いずれかひとつを選び申請してください。**

## 助成事業概要（2）

### ▶ 助成対象期間

2021年4月1日から2022年3月31日までの1年間



2021/4/1からの費用をカバーします。

### ▶ 助成金総額 **1,000万円**

（研究助成： 700万円、1件当たりの上限 50万円）

（出版刊行助成： 100万円、1件当たりの上限 100万円）

（海外渡航費助成： 200万円、1件当たりの上限 20万円）

#### 【海外渡航費助成上限額】

＜渡航エリア＞	＜一般＞	＜大学院生＞
ヨーロッパ・アフリカ・南米	200,000	50,000
北アメリカ・オセアニア	150,000	50,000
アジア(韓国、台湾を除く)	70,000	50,000
韓国・台湾	50,000	30,000

## 助成事業概要（3）

### ▶ 助成基準

#### 1) 研究助成

次の各号※のいずれかに該当する国際的、学際的な研究活動で、  
**1年程度で一定の成果を得られる活動**

＜※社会的要請・先駆的・独創的研究・神奈川県または横浜市に関する研究＞

#### 2) 出版刊行助成（研究助成の成果を公表）

＜※ 6/21現在、**原稿が完成**していること＞

#### 3) 海外渡航費助成

次の各号のいずれかに該当する研究者の海外派遣に対して渡航費を助成

ア、国際学術会議で発表する場合

イ、大学又は研究機関が出張扱いとする派遣の場合

ウ、選考委員会が、学術教育の振興に寄与する派遣と認めた場合

## 助成事業概要（４）

### ▶ 選考方法

選考は財団委嘱の選考委員10名による選考委員会において**所定の申請書類（書面）**により行う。（定款により、最終決定は財団理事会が行う。）

### ▶ 書面とは？

（１）申請書 （２）推薦書 （３）その他指定の書類

1) 研究助成	・ 研究助成申請書	・ 推薦書（各1部）
2) 出版刊行助成	・ 出版刊行助成申請書 ・ 完全原稿のコピー ・ 推薦書	・ 出版物の見積書 ・ 要旨（1,200字程度） （各1部）
3) 海外渡航費助成	・ 海外渡航費助成申請書	・ 参加プログラム等 （各1部）

## 申請書の書き方（1）

研究助成 p1

《2021年度》

記載上の注意入り

### 公益財団法人横浜学術教育振興財団 研究助成申請書

2021年 月 日

公益財団法人横浜学術教育振興財団  
理事長 矢部 丈太郎 様

下記のとおり、貴財団の研究助成に申請いたします。

#### 1. 氏名・研究テーマ等

氏名 (フリガナ)			
生年月日	(西暦) 年 月 日生	満 歳	(2021年6月1日現在)
現住所	〒	TEL	
		e-mail	
所属機関	所在地		
	機関名・所属		
	役職名		本務校がある場合はその本務先
最終学歴	<div style="border: 2px solid red; padding: 2px; display: inline-block;"> <b>大学名から記入してください。</b> </div>		
申請金額	¥	, 0 0 0	(千円未満切捨て)
研究テーマ			
希望の審査分野	右の中からひとつ選択して○印をつけてください	<input type="checkbox"/> 人文社会科学 <input type="checkbox"/> 自然科学 <input type="checkbox"/> 医学	
助成基準からみた研究内容	申請の研究テーマについて当てはまる項目に○印。 (複数選択可,記載は任意)	<input type="checkbox"/> 社会的要請の強い研究活動 <input type="checkbox"/> 先駆的・独創的研究活動 <input type="checkbox"/> 神奈川県または横浜市に関する研究活動	
	・このページ内に入るよう、申請テーマに関する主要な実績についてまとめてください。 ・申請テーマに関し現在獲得している外部資金があれば資金の名称・金額等を末尾に記載してください。		

## ▶ 申請書の書き方（2）

研究助成 p2

### ＜研究実績の記載内容＞ （出版刊行助成、海外渡航費助成も同じ）

- ▶ 次のような内容について、申請者本人の実績を箇条書きで記載してください。
- ▶ ①論文：学術誌原著論文等
- ②学会発表：学会発表・口頭発表等
- ③総説：学術誌の解説、講座等
- ④著書：著書・編著
- ⑤外部資金の獲得状況
- ⑥その他：特許、刊行物等

※ 申請書作成に関するQ&Aより

## 申請書の書き方（3）

研究助成 p3

「**使途内訳 (自然科学系)**」

比較的わかりやすい例です。

### 5. 研究助成金使途内訳:

#### 【経費目録用試薬】

・ 経費目録用試薬 20,000×5=100,000円

#### 【分析用試薬】

・ F 出試薬 40,000×1=40,000円

・ 合成試薬 40,000×1=40,000円

・ R. . . R試薬 30,000×3=90,000円

・ 2,000×5=10,000円

#### 【消耗品】

・ 40,000円

#### 【実験器具】

・ 30,000円

#### 【その他】

・ 研究成果の学会発表の旅費 50,000円

・ 論文投稿費用 100,000円

合計 500,000円



## 申請書の書き方（4）

研究助成 p4 「**使途内訳 (人文社会科学系)**」

### 5. 研究助成金使途内訳:

研究助成金:¥490,000- 内訳

(1)インターネットアンケート調査実施費用: ¥340,000-

インターネットアンケート調査会社に調査依頼を実施する。調査対象のスクリーニングおよびアンケートの実施に¥340,000-を見込む。

もう少し具体的な記述があるとよりよい。

(2)消耗品費: ¥70,000-

文献調査において必要な書籍、ビジネス系雑誌などの購入、アンケートデータ管理用ハードディスク、印刷用紙（アンケート結果、分析結果印刷用）、プリンター等、書類整理等事務用品など、¥70,000-を見込む

(3)企業主催カンファレンス参加費: ¥80,000-

国内企業主催ITカンファレンスに参加することによる情報収集を目的とし、¥80,000-を見込む

人文社会科学系の例（よい例）

## 申請書の書き方（5）

出版刊行助成 p1

《2021年度》

公益財団法人横浜学術教育振興財団  
出版刊行助成申請書

記載上の注意入り

2021年 月 日

公益財団法人横浜学術教育振興財団  
理事長 矢部 丈太郎 様

下記のとおり、貴財団の出版刊行助成に申請いたします。

### 1. 氏名・書名、研究テーマ等

氏名	(フリガナ)		
生年月日	(西暦) 年 月 日生	満	歳 (2021年6月1日現在)
現住所	〒	TEL	
		e-mail	
所属機関	所在地		
	機関名・所属		
	役職名		本務校がある場合はその本務先
最終学歴	大学名から記載してください。		
申請金額	¥ , , 000 (千円未満切捨て) (参考: 見積書の総額¥ , , )		
書名	(出版物の言語は、日本語または英語に限ります。)		
発行予定日	(西暦) 年 月 日 (最終は2022年3月31日まで)		
出版物の区分	(どちらかに○印をつけてください。) ( ) 学位論文 ( ) それ以外の研究書		
研究実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>このページ内に入るよう、申請テーマに関する主要な実績についてまとめてください。</li> <li>申請テーマに関し現在獲得している外部資金があれば資金の名称・金額等を末尾に記載してください。</li> </ul> <p>※「研究業績」の記載については研究助成の例 (p7) をご参照ください。</p>		

## 申請書の書き方（6）

海外渡航費助成 p1

《2021年度》

公益財団法人横浜学術教育振興財団  
海外渡航費助成申請書

記載上の注意入り

2021年 月 日

公益財団法人横浜学術教育振興財団  
理事長 矢部 丈太郎様

下記のとおり、貴財団の海外渡航費助成に申請いたします。

### 1. 氏名・発表テーマ等

「海外渡航」に関する費用をカバーするものです。オンラインで開かれる学会の参加費や、登録料などでの申請はできません。

氏名 (フリガナ)			
生年月日	(西暦) 年 月 日生	満 歳	(2021年6月1日現在)
現住所	〒	TEL	
		e-mail	
所属機関	所在地		
	機関名・所属		
	役職名		本務校がある場合はその本務先
最終学歴	大学名も記入してください。		
申請金額	(渡航先及び大学院生か否かにより上限額が設けられています。詳細：最終ページ)		
	¥ , 0 0 0 (千円未満切捨て)		航空運賃が、助成限度額より低い(安い)場合は、その金額で申請してください。
テーマ ( )のどちらかに○印	( )発表テーマ	(こちらにテーマを記載)	
	( )調査テーマ		
研究実績	<p>・このページ内に入るよう、申請テーマに関する主要な実績についてまとめてください。</p> <p>・申請テーマに関し現在獲得している外部資金があれば資金の名称・金額等を末尾に記載してください。</p> <p>※「研究業績」の記載については研究助成の例(p7)をご参照ください。</p>		

## ▶ 申請書の書き方（7）

海外渡航費助成 p2

### 2. 会議・調査等の概要

会議・調査名 (和名がない場合でも 適宜日本語に訳して 記載してください。)	(和名)	
主催団体		
開催期間		
開催地	国名	都市名
開催規模	参加国数	参加者数
会議・調査の目的		
本会議・調査参加 により期待される 効果	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">           開催時期との関係で「参加プログラム」の提出が難しい場合は、参加が確認できる主催者とのメールなどを“参考”として添付してください。         </div>	
※ 海外での活動内容がわかる <b>参加プログラム等の資料</b> を添付して申請してください。 なお、資料の該当箇所(氏名、発表日、テーマなど)を <b>ハイライト</b> で表示してください。 ※ 併願をしていないことの確認: <input type="checkbox"/> (左の□に✓をいれてください。)		

### 3. 渡航費用

出発地	
到着地	
航空運賃（空港使用料含む）	(旅行会社などに照会し実際に必要と見込まれる金額を記載してください。) ¥ _____, _____

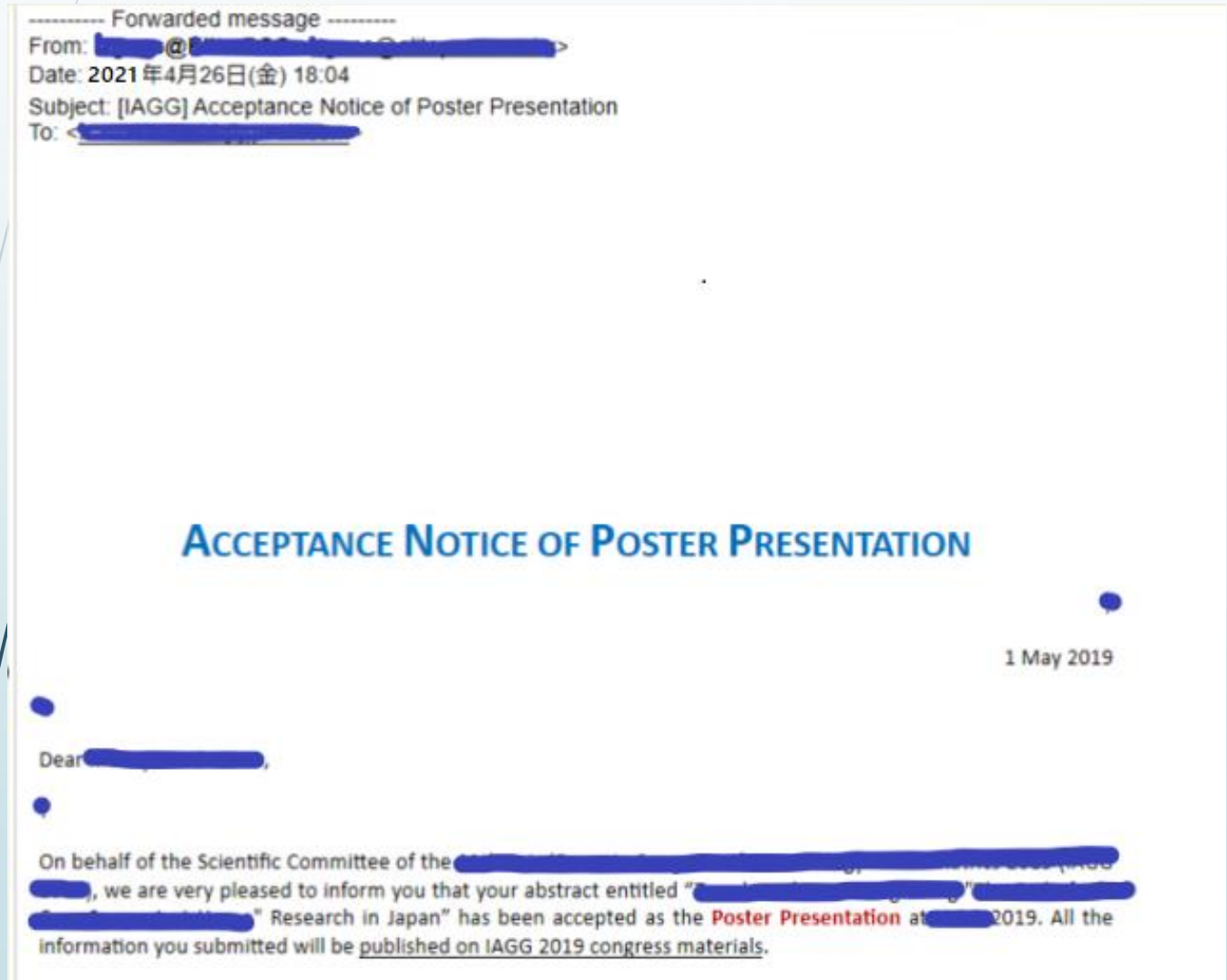






## ▶ 海外渡航費/ 渡航証拠書類

### 国際学会参加に関するメールの例





## ■ 提出方法

- (1) メールへの添付で
- (2) 横浜市立大学・学内メールシステム  
(Information Center, Box # 37)
- (3) 財団事務室へ持参 (在宅勤務あり)

※ 事務室スケジュール

<https://yokogaku.com/2019/05/03/office-calendar/>

(ファクスでの受付はいたしません。)

## ■ 申請書提出後のスケジュール

- ◆ 申請書受付：**5月13日(木)～6月21日(月) 厳守**
- ◆ 選考委員会：7月下旬
- ◆ 受給者発表：7月末日までに選考結果通知を発送します。
- ◆ 助成金支給
  - (1) 研究助成：助成金を8月中旬に一括支給します。
  - (2) 海外渡航費で採択された方には渡航終了後に支給します。
  - (3) 出版刊行助成については書籍発行後支給します。